

講演する村上茂樹院長



宇土市南段原町にある「むらかみ眼科クリニック」の村上茂樹院長は、順天堂大学スポーツ健康科学部の客員准教授でもあったが、このほど、客員教授に昇格した。村上院長は眼科医として史上初の日本医学専門医認定3冠(眼科学、東洋医学、抗加齢医学)を取得しているが、加えて名門大学の客員教授になったのは極めて異例とされる。

順天堂大学は医学の名門としても知られるが、スポーツにおいてもオリンピックの金メダリスト3人(体操の富田、鹿島、水泳の鈴木大地)らを輩出している有名校。村上院長はスポーツ健康医学の観点から、その研究成果と実績が高く評価されている。

宇土市の「むらかみ眼科クリニック」

村上院長がついに順天堂大学の客員教授に

ブルーライト研究やアミノ酸製品の成果に高い評価

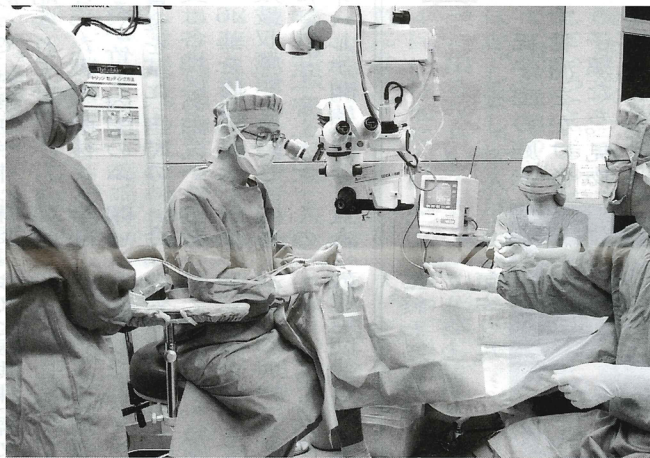
ともに、宇城地域を含めた一般の中高齢者の住民の人たちへのこれらの有害光による眼病予防と視覚障害を防止するための多くの講演などの啓発活動を行ってきた。

著書もこれまでの3冊に加え、海外学術論文雑誌や日本の学会機関雑誌などを含め24編の学術論文を発表している。

最近では、有害光である紫外線やブルーライトをカットし、吸収されるための機能カラー眼鏡やコンタクトレンズについての研究を世界で初めて実施し、その新発見を英語学術論文として発表して学会でも大きな反響を呼んだ。先頃には、こうした新研究と共に多くの患者や高齢者への啓発活動が認められ、今夏には毎日新聞の全国版「くらしナビ」にパソコンや携帯の画面から出るブルーライトに対する眼と体を与える影響と

眼を保護するためのアイテム、さらに食生活や生活習慣での眼と体の保護対策についても詳しく解説した記事が掲載された。また、ソフトバンクB

社において、携帯から発せられるブルーライトを低減するためのブルーライトガードフィルムの有用性についての詳しい



一日、百数十人の患者を診察する一方で、これまで1万例以上もの手術をこなす。その判断力と技術力は眼科学会でも有名(中央、手術中が村上院長)。

解説も同社のホームページに院長の略歴や写真も添えて詳細にブルーライトの有用性とブルーライトガードフィルムを含めた防止対策についての解説を含め詳細かつ明瞭に

アミノ酸製品の研究

更に、眼と体の免疫力を

向上させるアミノ酸製品についての研究も東京大学大学院の大谷勝教授との共同研究において、筆頭研究者として、海外学術雑誌と海外学術学会発表などの6編の英文での論文を発表を行った。アミノ酸製品のトップメーカーである味の素社の協力も得て、箱根駅伝など大学駅伝のための夏期高地合宿及び厳冬の合宿等に新しいアミノ酸製品を使用し、その高度の身体的ストレス負荷においても免疫力の低下を抑え、体の筋肉の炎症も軽減することを世界で初めて新発見として報告した。

こうした結果から、眼科を含めた外科手術の患者のための免疫力の維持と健康増進にも寄与できることを視野に研究がさらに進められる予定だ。一方、これまで見過ごされてきたスポーツ選手におけるドライアイ等によるスポーツ競技時の視機能の低下とその予防対策の研究においても世界的な新発見をし、既に学術学会で講演発表を行い、現在、学術英語論文雑誌に発表中という。

こうしたブルーライトやアミノ酸の研究成果が客員教授への推挙となったもので、開業医としては快挙といわれている。村上院長はS61順天堂大医学部卒。医学博士。H8宇土市の現在地に開院。著書に「白内障と加齢黄斑変性」、「眼とカラダの処方箋」、「眼の成人病」、「眼科病院システムと診療のコツ」等がある。